

Arlacel 2121

(アラセル 2121)

ハイドロソーム(液晶乳化)ができるO/W 乳化剤

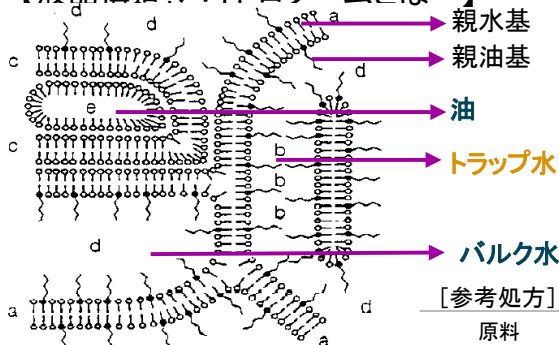
【機能・特徴】

- ★ 乳化安定性を向上します。
- ★ 薬剤の放出制御が出来ます。
- ★ 伸びが良く使用感に優れます。
- ★ 極性油、非極性油とも乳化できます。
(シリコーン 100%でも乳化できます。)
- ★ 低 HLB/高 HLB 界面活性剤混合物。

HLB:6

性状:淡黄色、固体フレーク状
EO フリー

【液晶構造:ハイドロゾームとは…】



連続(水)相に非局在化した多重層ラメラ液晶構造を形成し、水相にゲルネットワークを形成する乳化のことをいいます。
伸びの良い使用感で保湿効果が強く、乳化安定性に優れます。

【参考処方】

| 原料 | % |
|-----------------------------------------|-----|
| トリオクタノイン | 5.0 |
| トリ(カプリル/カプリン酸)グリセリル | 5.0 |
| A PPG-15 ステアリル | 4.0 |
| セトステアリルアルコール | 2.0 |
| ジメチコン 200cs | 1.0 |
| B ステアリン酸ソルビタン、ヤシ油脂肪酸スクロース(Arlacel 2121) | 2.0 |
| グリセリン | 4.0 |
| C ヒドロキシプロピルデンブリン酸 | 2.0 |
| 水 | 残余 |
| D フェノキシエタノール | 適量 |

製造方法

1. C 混ぜ、400rpm に 10 分間攪拌・分散した後、20 分以上 80°C に加熱する。
2. B を 1. に加え、Arlacel 2121 が膨潤するまで 80~85°C に 30 分間以上保温する。
3. 2. を 400rpm で 10 分間攪拌後、8,000rpm で 30 秒間ホモジネーションする。
4. A を 75°C に加熱する。
5. 400rpm に攪拌しながら、A を少しずつ B に加え、8,000rpm で 1 分間ホモジネーションする。
6. 100rpm で攪拌しながら 40°C まで冷却する。
7. 200~300rpm で攪拌しながら C を加える。

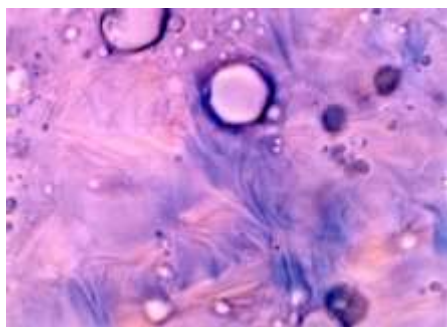
【商品情報】

商品名: Arlacel 2121

表示名称: ステアリン酸ソルビタン、ヤシ油脂肪酸スクロース

由来植物: パーム、ヤシ、トウモロコシ、ジャガイモ

製造元: CRODA



偏光板: λフィルター